

**KTK**  
**NO.109**

後援会費郵便振替口座  
01070-7-32145  
あらぐさ後援会

# あらぐさ通信

編集 あらぐさ後援会  
編集協力 社会福祉法人あらぐさ福祉会  
〒617-0813 京都府長岡京市井ノ内広海道42-3  
TEL 075-953-9212 FAX 075-953-9215

## カフェへ納品



2021年1月6日(木)、一文橋の手前に、「障害のある人もない人も共に安心して集まれるカフェ」がOPENしました。カフェの名前は「U.I.no coffee」。就労支援施設B型事業所ワークショップ友愛印刷の障がいのある方が働くカフェです。落ち着いた雰囲気のおしゃれなお店で、店に入るとひまわり園さんや、やまびこさん等、乙訓にある福祉施設の自主製品やパン、お菓子などが店頭ですらっと並んでいます。

あらぐさも出店しており、ワークセンターからはクッキー・フィナンシェ・ケーキを、デイセンターからはジャムや乾燥ごぼうなどの食品と染め製品などの自主製品を置かせて頂いています。特に製菓はご好評を頂いており、週に2~3回位の頻度で納品に行っています。カフェを利用して

いるお客様から製品についてご意見を頂ける事も多く、「中にフルーツなどが入っていない物が食べたい」といった声からパウンドケーキのプレーンが復活しました。そうして店頭に並ぶようになったプレーンのケーキは、納品してすぐに追加の注文が入るほどの人気商品となっています。

「U.I.no coffee」は色々な事業所の自主製品を目にすることが出来る場であり、美味しいコーヒーが飲めるカフェとして素敵な場所です。最近ではモーニングをはじめられ、メニューも充実してきています。是非一度お立ち寄りください。

営業時間は平日の8:30~17:30(土日祝は定休日)です。

# 自分の思いを話す ～成長する姿にたくましさ

伊藤さんのお話を伺った日は33歳の誕生日。3つ違いの弟さんと二人兄弟です。あらぐさでは、さをり織り、染色、畑作業、調理などの仕事をしています。

## おいたち

伏見の国立病院で誕生。3350 kgありましたが黄疸がきつく保育器に入りました。寝返りも首のすわりも普通でしたが言葉が遅く、1歳半検診で児童相談所を紹介され、発達障害のちに自閉症と診断されました。2歳から「若杉学園」に母子通園、洛西へ転居後「竹の里保育園」と「カンガルー教室」に併行通園しました。なかなか集団生活になじめず「洛西愛育園」にも通いました。

小学校は、西養護学校に入学しました。5年生の頃、学校の方針に合わず自傷行為やパニックがひどくなりました。乙訓は福祉のまちと聞き、向日が丘養護学校へ転校するため、年末向日市に引っ越ししました。

## 向日が丘養護学校と地域での活動

小学部では、よく西山に出かけていました。そこで食べたカップラーメンが美味しかったようで大好きになりました。寄宿舎も体験しました。高等部では、さをり織り、刺繍、陶芸、木工と色々なことを教えてもらい、手先が器用なのか何でもよく取り組みました。教室では、友人のことを気にかけて、特に肢体不自由の人の世話をしたり、先生を手伝って必要な物の準備をしたりもしていました。

長期休暇は、向日市の障がい児学童保育「がんばクラブ」に参加。自主運営だったので保護者の皆さんと共にTシャツやトレーナーなどを販売して資金作りをしました。学生さんとは、沢登り、川飛び込み、プール、スケートなど親ではできないたくさんのこと経験しました。



## あらぐさでの活動

高等部卒業式の前日に通所先が「あらぐさ」に決定。さをり織り、染め、調理などを取り組んでいます。同グループの人達はおしゃべりができる人が多く、10年以上経った今では、本人もよく話すようになりました。

月1回ずつ「いろどり」「てくてく」のショートスティを利用。一昨年からはガイドヘルパーさんと外出することになりました。



外食が苦手なだけに頼めませんが、周りを見て、他の食べ物もやっとな頼めるよう

になりました。今は新型コロナウイルスの影響で出かけられなくなっています。あらぐさの「みちくさ」には中山さんがいます。中山さんだけ「中山恵美子」と呼び捨てし、ヒロキ「靴下見せて」ナカヤマ「嫌です」と速攻で振られています。夜は12時頃寝ることがあっても朝は4時半に起床。睡眠障害があります。あらぐさへは送迎車で通所しています。

## 家庭や地域での『今の暮らし』

夕方4時半に帰宅後、母と一緒に夕食作り。ハンバーグやカレーライスはとても上手です。サラダは

ブロッコリーを茹でてカットサラダに加え、フライドオニオンやコーンなどをトッピングし盛り付けを一工夫しています。大相撲が大好きで始めると「遠藤がんばれ！」と夢中で観戦。幕引きの拍子木まで観てから入浴です。一人で留守番中、夕方になると気をまわしてお米を洗っておいてくれます。TVは、クイズやゲームの番組、のど自慢、時代劇などをよく観ています。好きな俳優は松下奈緒さんです。

土日は、買い物は「マツモト」、貸農園での畑仕事など自分で1日のスケジュールを決めています。畑



へは本人は走り、母は自転車で行くことが、今では共通の楽しみとなっています。

野菜作りだけではなく、畑の利用者さんとの出会いがあり、自分から「今日は」と声を掛けて回ることも楽しみにしています。皆さんによくしてもらっています。

家では、母の体調が悪そうと気付くと背中をさすってくれたり、買い物に行くとき重い荷物を持ってくれたり、田舎で買った玄米30kgをコイン精米する際、車に運んでくれたり・・・色々と助けてくれます。でも、困っていることもあります。トイレトーパーを1日に2ロールも使うので何とか改善できないか、色々と工夫しています。

時々大きな声を出すことがあるため、家では防音ガラスを設置しています。以前は自傷行為が強く、戸に顔面を叩きつけることがありました。今でも桂病院の先生にパニック時の指導治療をお願いしています。

### これまでを振り返って

「療育は学校で、教育は家庭で」と考え、なるべく嫌がることのないように褒めて育てることを大切

にしてきました。そのため、高等部卒業まで学生さんに家庭教師をお願いしました。今では「ひろき ミニトマト 大好き」と文章がつながるようになってきました。家庭では、節分、雛祭り、しょうぶ湯など季節の行事を大切に、歌も歌ってきました。小さい頃は知らんぷりでしたが、自然とその季節が来ると歌も歌っています。鋏が使えるように洗濯バサミで指先の練習もしました。10歳の頃「パ、あちち、はい、バス」しか言えないので言語訓練の先生にも相談しました。TVのサザエさんの題字を声に出して読むなどするうちに言葉を覚えていきました。

年に一度、右京病院の発達相談室で白石先生の指導も受けました。高校卒業時「かどがなく、まあるくまく育っている」「てんかん発作の心配も大丈夫でしょう」と言われ、相談室も卒業しました。

### これからのこと

「お家、大好き！」の人ですが、40歳くらいにはグループホームに入れたいと思っています。あらぐさの給料と障がい者年金で賄えたらとは思っていますが・・・この15年ゆっくりですが自分の思いを言えるようになり、思春期も遅れてやってきたようですが、幾つになっても成長する姿に逞しさを感じています。鼻歌を歌ったり、最近では文字だけではなく絵も描くようになりました。地図を見ることやバスなど乗り物も好きなので、月一度旅行ガイドブックを買うのを楽しみにしています。あらぐさでは、ペコパの物まねなどを披露しているようで楽しそうに話してくれます。両親と離れても周囲の人の力を借りて、笑顔で毎日を過ごしてほしいと思っています。

### 最後に



子育てに正解はありません。親バカですが思いやりある優しい子に育ったと思います。たくさんの方々に可愛がってもらい、一緒に悩み、見守り、育てていただいたことに感謝しています。

(取材：前田・森垣・真殿 伊藤さん母記)



# お花見とお別れ会

Bグループ



3月の終わり、あらぐさの桜がきれいに咲き始めたころ、「桜咲いた」「お花見する」と話され、ウキウキの利用者さん。お団子やジュースを用意し、みんなでお花見をしました。

お花見と一緒にお別れ会をし、退職する職員や実習に来られていた学生さんにプレゼントを渡しました。自分たちで作ったプレゼントを、誇らしげな表情で手渡される姿がありました。職員が1人1人と握手していく中で、嬉しそうな顔や不思議そうな顔をしている利用者さん。中には握手だけでなく、抱きしめて、全身で“好き”を伝えられる方もおられました。

プレゼントを喜んでもらいうれしいような、お別れがさみしいような、そんな複雑な気持ちの中でしたが、みんなで桜を囲みたくさん笑い合えた一日でした。

## 2月の作品展「創」は開催中止となりました

前号でお知らせしました作品展「創17 (Re)」は新型コロナ感染の緊急事態宣言にともない、開催中止となっています。早くに安心して入場できる日がくることを願っています。

## 製品紹介

### デイセンター2

## ジャム



デイセンター2では、りんごやいちごなど、季節に合わせたジャムを作っています。

<販売価格 410円>

利用者さんと旬の食材を買いに行き、一から加工をしています。素材の味を活かすため、砂糖とレモンしか加えていません。無添加のため、日持ちはしづらいますが、安心して召し上がっていただけます。

パンやヨーグルトとの相性は抜群です。また、りんごジャムはカレーやソースなど料理の隠し味としてもおすすめです。

ご注文お待ちしております！

### < おすすめレシピ >



#### ☆照り焼きソース

- ・りんごジャム 大さじ1
- ・酒 大さじ1/2
- ・醤油 大さじ1

全部を混ぜて、鶏肉や豚肉に絡めて焼くとおいしいですよ！

## 「ケアホームいろどり」にあなたの力を貸して下さい

### ～短時間勤務者募集～



「どんなに障害が重くても、乙訓でこの子を育てたい、暮らさせたい」この思いは、あらぐさを作り出した原動力であり、実践を支える理念です。今日、住み慣れた地域で暮らすことは、行政のまちづくりのスローガンにもなっています。

住み慣れた地域で暮らし続ける上で、グループホーム(ケアホーム)は要になっています。現在、ケアホームいろどり(27名定員)の利用は、週5泊+緊急時対応(土・日)となっています。ご家族の高齢化が進むなか、緊急時対応が増え、ホームの365日開所が求められています。しかし、実態は緊急時対応でいっぱいです。入居者の暮らしを支えるため、お力を貸してください。

- ①宿直21時～7時(1回7,140円・曜日、勤務時間は要相談)
- ②朝夕の支援(7時～9時半・16時～22時)時給1040円。試用期間は950円)
- ③食事づくり(1.5時間、週1～2回)

資格は問いませんが、介護職員初任者研修(ヘルパー)修了者歓迎

ケアホームいろどり075-957-2722 担当(永崎)

# コロナに負けるな！みんなおいでよ～ あらくさ「リモートひろば」開催



## ご応募ありがとうございました

2月にあらくさ後援会が開催したあらくさ「リモート」ひろば「福引き抽選会」には、81通のご応募をいただきました。

4月9日、障害福祉センターあらくさにて後援会役員により抽選会を開催し、次の方々が当選されました。当選された方には賞品を郵送させていただきました。

また今回、たくさんの応援メッセージをいただきました。ありがとうございました。一部ご紹介いたします。

併せて実施しましたあらくさ自主製品「購入割引券」の利用については、あらくさに販売ブースを設け、多数の方に製品を購入していただきました。割引券は37枚利用されました。

### 当選者発表（敬称略）



#### A賞（10名）

夏川久子 森山正博 田坂靖子 石村和子  
松永里子 昼神仁美 中島俊行 阪本彩子  
大橋雅人 伊地知洋晃

#### B賞（20名）

石田秀子 西村美也子 竹下久美 田中栄治  
中野円 中山千恵子 丸岡正子 中川政之  
山口隆史 芦田航 増田弘子 浜野亜希子  
長島里香 森下純平 匿名希望6名

#### C賞（30名）

伊藤五郎 上田紗葵子 石堂宏宜 村野英介  
小川直 加地美里 住田珠江 塚上公治  
村井悦予 水口秋子 都出とし子 パンダ企画  
三谷文菜 後藤真由美 津田恵里子 禎山幸重  
大橋生人 三浦朱葉 荒木満 中村好夫  
安井鈴美 平野路予 松浦佳織 伊地知有華  
匿名希望6名



### 応募のみなさんからのメッセージより

- ・コロナの影響がここまでなるとは思いませんでした。それでも予防対策をしっかりといただき、あらくさの利用者さんが安心して活動に取り組まれ、たくさんの自主製品ができることに感謝します。作品展が開催できることを楽しみにしています。
- ・新型コロナウイルスで大変でしょうが、頑張ってください。障害者、老人が大切にされる「公助」の社会に早くなればと思います。
- ・一日も早くコロナの終息を願っています。来年こそはあらくさ広場、作品展、開催できますように。
- ・リモートひろばの企画はとても良い工夫です。コロナが一日も早く収束し、またみんなが集まれるひろばが開催できますように。
- ・いろいろな手しごと、作っておられる方たちはきっと楽しんでおられることでしょう。独創的な一点一点が広く愛されてゆきますように。
- ・あらくさ通信読ませてもらっています。いろいろな取り組みなどよくわかります。



# あらぐさ後援会 加入・募金 ありがとうございました

(2020年12月1日～2021年3月31日 敬称略 順不同)

T&T 美容室鳥居敏江 浅倉静代 芦田空  
 栗野賢 安藤歯科医院安藤純夫 射場隆 今井  
 和子 江川哲 大江潤 大江貴光 大江延佳  
 大釜和子 大木雄大 大槻昭 大橋生人 小田  
 淑子 小原明大 加地祥志 勝山廣美 木村  
 篤哉 草野廣 鞍貫聡史 後藤真由美 小林  
 フジ子 澤月子 志賀妙子 四方政則 島津  
 絢子 (株)シャーロン 庄田馨 鈴木千賀子  
 滝川正幸 多田久美子 谷川邦宏 谷口奈緒子  
 玉井紀子 丹野直次 津田恵理子 長岡天満宮  
 社務所 中田あづさ 仲本幸代 西野由美子

仁村佳與子 野崎清子 野畑光代 濱川君代  
 原田文孝 ぱんだ企画 久江公子 平野路予  
 廣瀬愛 藤井久子 藤原啓子 別府哲 松岡  
 利代子 松田侑子 松田恵美子 松本英里  
 松本美津男 丸山彰子 水口秋子 南俊秋  
 村上宏 村上すみ子 村瀬真里奈 村田清子  
 森川浩世 森山正博 八木勝光 (有)ヤスイカ  
 メラ 藪良蔵 山本利江 山本弥生 (株)ユニ  
 バーサルホームサービス代表取締役濱岡芳生  
 吉永安昌 吉永和子 吉永雄司 米村久美  
 匿名希望10名

2021年度

## 後援会費納入とあらぐさ支援募金のおねがい

後援会の更新の時期となりました。会費納入と支援募金をよろしくお願ひします。

あらぐさ支援募金は、あらぐさ福祉会がすすめる「暮らしの場」づくりの施設整備を恒常的に支援することを目的にしています。

昨年度2020年度はコロナ禍にもかかわらず、前年度よりも多くの方から後援会費及び支援募金を寄せていただきました。ありがとうございます。

### あらぐさ後援会

個人 1口 1,000円

団体 1口 2,000円

### あらぐさ支援募金

1口 1,000円



- ・後援会費及び支援募金は、同封の振込用紙をご利用ください。
- ・入金と行き違いになりました際はご容赦ください。
- ・後援会費、支援募金には「KTK あらぐさ通信」紙代が含まれています。



毎年5月に開催してきました後援会総会は新型コロナ感染防止のため延期となりました。



障害福祉センターあらぐさ 職員

瀬川 良介 さん

(せがわ りょうすけ)

はじめまして、4月よりデイ2で勤務させていただいている瀬川良介と申します。(昨年の7月にあらぐさに就職させていただき、最初はワークセンターで勤務していました。)

私はこの仕事(障害福祉)を始めて、19年目になりました。最初は別の乙訓の施設で働き始め、結婚を機に京都市の施設に転職しました。これまで、多くの利用者さんやそのご家族との出会い、そして一緒に過ごした時間が、私自身のよりよい経験として今に繋がっています。

あらぐさに就職させていただききっかけとなったのは、以前に働いていた乙訓の施設のイベントに参加した時でした。その施設の利用者さんやご家族さんが、とても気さくに話しかけて下さり、「会えて嬉しかったよ」「また乙訓に戻ってきてほしいわぁ」と声をかけていただきました。その瞬間、「もう一度、この乙訓の地域で働いてみたい」という強い気持ちが生えました。そして、乙訓の求人を探していたところ、タイミングよく

あらぐさの求人と出会い、就職させていただく事となりました。

あらぐさで勤務し始めてまだ1年も経ちませんが、私の事を覚えて下さっていた利用者さんやご家族さんがよく声をかけて下さり、それが日々の仕事の活力となっています。

また新たな場所で、とまどう事や不安もありますが、それ以上に日々の利用者さんとの時間を通して、一緒に笑い合えたり分かち合える事が楽しさややりがいに繋がっています。デイ2では、ワークセンターとはまた違った時間の流れがあり、そのなかでも何気ない事に「ハハ」と笑えたり、疲れた時は「ゆっくりいこうよ」と言いながら一緒に休憩したり、そんなふとした時間をこれからも大切にしたいと思っています。そして、私自身も楽しみながら、利用者さんとよりよい時間を過ごせたらと思っていますので、今後ともよろしくお願いたします。



1992年6月5日 第3種郵便物承認(毎月1回25日発行) 2021年6月24日発行  
KTK増刊通信第5134号 発行所 京都障害者団体定期刊行物協会  
〒602-8144 京都市上京区丸太町通黒門東入藁屋町536-1 元待賢小学校1階  
京都障がい車内 発行人 高谷修 頒価50円(購読料は会費に含まれています)

KTK  
あらぐさ通信